

日本式介護普及実証実験

プロジェクト報告書

2020年4月

**一般財団法人 福祉サービス評価機構
中国事務所**

日本式介護普及実証実験 プロジェクト報告書

－ 目 次 －

第1章 プロジェクトの背景・目的	3
1－1. プロジェクトの背景	3
1－2. プロジェクトの目的	4
1－3. 実証実験の概要及び方法	6
1－4. プロジェクト体制	14
第2章 実証実験	16
2－1. 実証フィールドについて	16
2－2. 学習プログラムの開発	16
2－3. ネット教育コンテンツ開発	22
2－4. 学習プログラムの実施	24
2－5. ネット教育システムを活用した学習プログラムの評価項目の設計	26
2－6. ネット教育システム「ケアEトレーナー」を活用した学習プログラムの評価結果	34
第3章 本プロジェクトの総合評価及びまとめ	39
3－1. ネット教育システム「ケアEトレーナー」の機能評価と課題	39
3－2. ネット教育システム「ケアEトレーナー」の操作性評価と課題	40
3－3. ネット教育システム「ケアEトレーナー」のコンテンツ評価と課題	40
3－3. ネット教育システム「ケアEトレーナー」のネット環境評価と課題	40

第4章 まとめ	40
---------------	----

第1章 プロジェクトの背景・目的

1-1. プロジェクトの背景

日本の介護事業の内需は高齢化・人口減少等を背景に縮退傾向にあり、新たな介護事業戦略に向けた取り組みが不可欠である。そのためには、今後大規模かつ急速な高齢化市場となることが見込まれるアジア諸国の課題に対して、日本の経験を活かした支援が必須であると考えられる。成長著しいアジアの中で特に中国は、高い経済成長率とともに、日本の経験を大きく超えた高齢化の問題に直面しており、介護サービスの基盤づくりが急ピッチで進められている。

その支援のため、産学官連携、ALL ジャパンの体制で、日本のサービス、ビジネス、ノウハウを提供するための戦略的な取り組みが必要である。

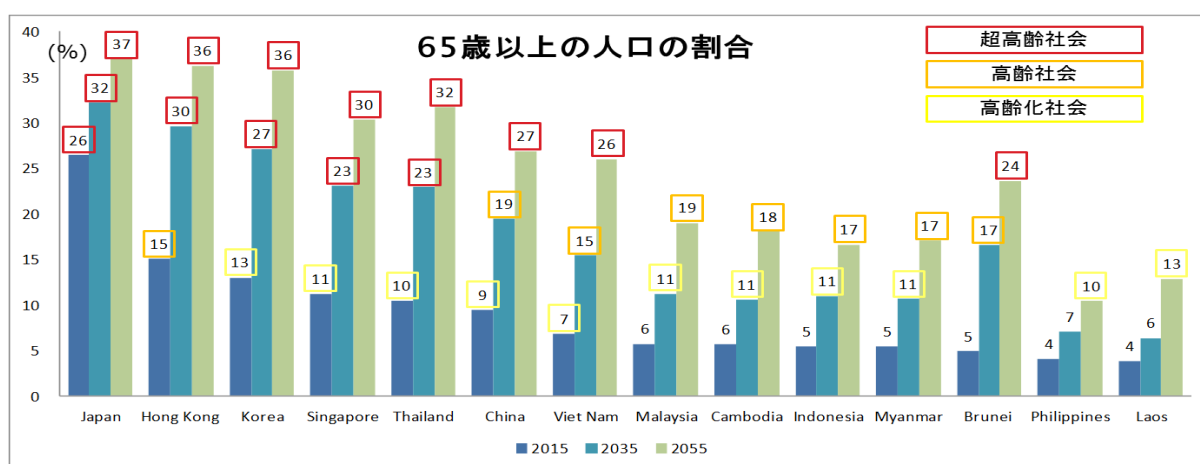
日本における 2017 年の 65 歳以上の高齢者人口は、3,515 万人を超え、総人口に占める割合（高齢化率）も 27.7%となった。日本は高齢化率が 2005 年に世界一になってから、世界のどの国もこれまで経験したことのない高齢社会を経験している。世界に先駆けて高齢社会対策を検討し、介護保険の導入、高齢者の健康づくり、就労等高齢者が活躍できる環境づくりなど、社会的課題の解決に取り組んできた。特に、日本の介護は高齢化が進むアジアで注目されており、実際に日本の介護保険制度は、韓国、台湾などで自国の介護制度の創設の際に参考とされている。

今後、世界において、スピードの差はあれ、日本に追隨して高齢化が進行することは明白である。国際連合の人口予測によると、今後 40 年のうち、東アジア・東南アジアの国のほとんどが、65 歳以上人口の割合が 7%超となり「高齢化社会」に突入し、さらに 15 年後の 2035 年、香港、韓国、シンガポール、タイは 65 歳以上の割合が 21%を超える「超高齢社会」になると予測されている（図表 1）。

日本は高齢化の「課題先進国」で、その結果、高齢者向けの介護サービス・ビジネスが創出され、技術や知見・ノウハウが蓄えられた。この経験と知識を活かし、世界における高齢化を日本の介護技術・ノウハウを

海外に展開する機会と捉え、今後高齢化が進む国々が直面する課題にあわせ、介護サービス・ビジネスを提供することで、それらの国々に貢献すると同時に、日本の介護を世界のスタンダードとすることができると考えられる。

〔図表・01〕 アジア各国の高齢化率



出所) United Nations, World Population Prospects: The 2012 Revision

※WHO・国際連合の高齢化の定義：7%超で「高齢化社会」、14%超で「高齢社会」、21%超で「超高齢社会」

1-2. プロジェクトの目的

早期に超高齢社会に突入した日本は、介護サービスの経験値には優位性がある。その経験を活かし、今のうちから、今後急速に拡大するアジア諸国の高齢化に対応すべく、官民連携で日本の介護サービスのノウハウを展開するための戦略的な取り組みにより、日本の介護サービスの展開のための基盤の構築を目指している。

その取り組みとして、まず初めに、介護サービス・ビジネスの海外展開にあたり現地の課題のひとつとして挙げられる介護人材不足についての方策を実施することが必須であると考えられる。

介護人材が不足している背景のひとつに、アジアでは高齢者のケアは家族によってなされるものとの共通意識が根強いことが挙げられる。また、ASEAN 諸国はメイド文化があり、裕福層の高齢者のケアは介護技術を習得していないメイドが行っている。一方、近い将来高齢化に直面する国（タイ、ベトナム等）は、高齢

化への課題認識はあるものの、介護や介護人材に対するニーズが顕在化していないため、まだ市場形成されていない。つまり、まだ介護の概念が形成されていない段階と言える。

このように国によって介護サービスへの必要性和取り組みは異なっている。

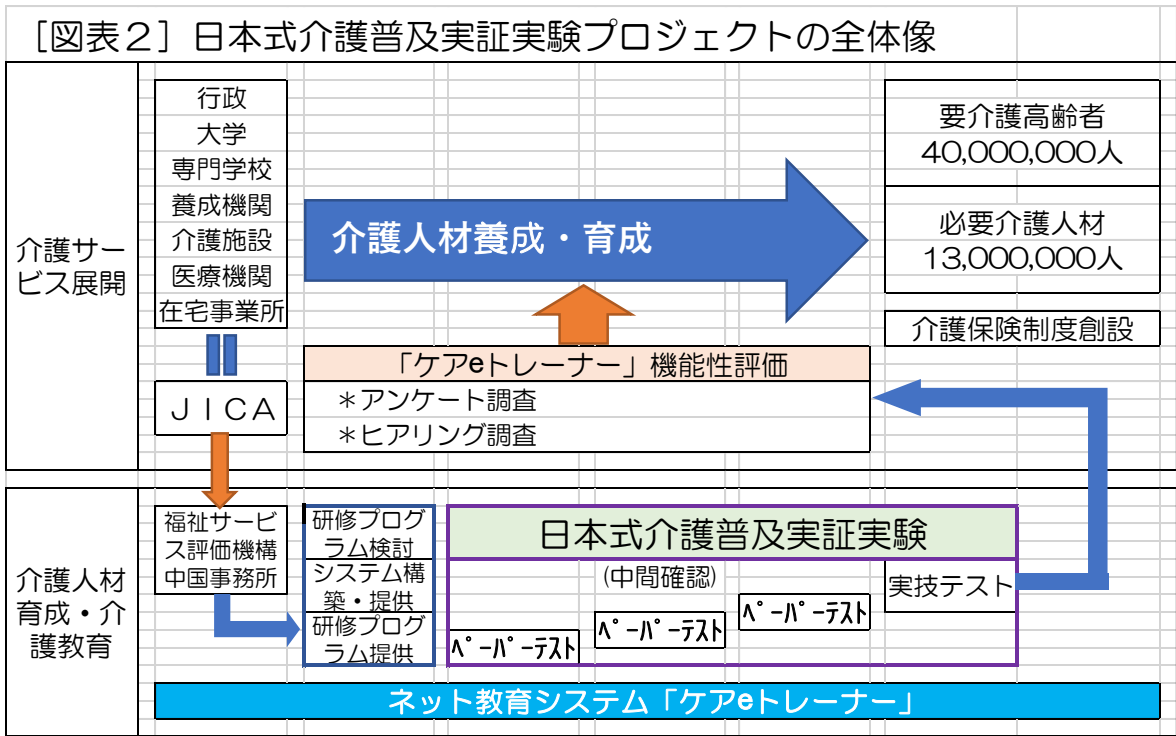
直近で最も介護ニーズがある中国においても、現地の介護人材が不足している。介護人材に対するニーズは顕在化しているが、人材育成には時間とコストがかかるため進出に二の足を踏む日本の介護事業者が多いのが現状である。

まずは、日本での介護人材の育成及び介護の概念の普及をすることで、中国の風土や生活習慣に適した介護サービスの基盤を形成しつつ、高齢者に最適な介護施設の設計・建設、介護事業者の運営・管理方法、介護用品・介護機器の適切な使用方法、さらに、安心・安全な介護ロボット等ＩＴ利用の設備・機器へ展開する基盤ができるものと考えられる。

従って、本事業では、将来的に日本の介護サービスの概念と技術の輸出を目指し、急速に高齢化が進みつつある中国を対象とし、ネット教育システムを効果的に活用した現地介護人材の育成を柱とした介護サービスの普及を目指すプロジェクトを実施した。次年度以降、ニーズの高い他の国への横展開の可能性を調査し、導入を進めていく予定である。

1-3. 実証実験の概要及び方法

本プロジェクトは、中国における介護サービスの状況を把握するため、1) 介護事業環境調査を行い、課題を抽出する。その解決策として、ネット教育システム「ケアeトレーナー」が日本式介護教育のツールとして、中国の広大な国土で多くの介護人材を効率よく教育するために効果的であることを実証する。本プロジェクトの全体像を〔図表2〕に示す。



1) 中国における介護事業環境調査

2013 年に「养老服务産業の発展加速に関する若干の意見」が発表され、高齢者施設分野への民間資本の参入を奨励する方針が示されたことを受けて、異業種などから多くの企業が同分野に参入したことから、中国では同年を「高齢者産業元年」と称している。

2016 年 5 月には、「長期介護保険制度試行拠点の展開に関する指導意見」が発表され、全国 15 都市で介護保険制度が試行的に導入されることになった。

また、2017 年 2 月には、2016 年～2020 年の 5 年間の高齢者産業の発展方針を示す「第 13 次

5 力年国家老齡事業発展・養老体系建設規画」が発表された。同規画では、前述の長期介護保険制度のほかに、在宅や社区養老サービス施設の整備、スマート養老、「医養結合」の推進、人材育成の強化など、新たな方向性が示されている。

* 介護人材の状況

①中国の介護職資格制度の概要

名 称：養老介護員従業者国家職業技能標準に関する通知(2011 年改定)

発表単位：人力資源社会保障部

発表文号：人社庁発[2011]104 号

発 表 日：2011 年 11 月 14 日

URL <http://jnjd.mca.gov.cn/article/zyjd/zcwj/201205/20120500304171.shtml>

内容摘要：【資格等級】：介護人員の国家資格等級は後掲の 4 つのレベルに分類。

【対象者】：中学卒業以上

【資格条件】：

レベル	条件(各条件のうち、1 つを満たせばよい)
初級	① 介護員に関する規定の初級正規研修時間に達し、修了証書を取得した者 ② 介護職において継続して 2 年以上従事した者 ③ 介護職にかかる見習い期間終了者
	規定研修時間：≧ 1 8 0 標準学習時間
中級	① 初級職業資格証書取得後、継続 3 年以上にわたり介護職に従事し、規定の中級正規研修時間に達し、修了証書を取得した者。 ② 初級職業資格証書取得後、継続 5 年以上にわたり介護職に従事した者 ③ 介護職において継続して 7 年以上従事した者。 ④ 人力資源社会保障行政部門認定の中級技術能力育成対象の専門課程（介護職にかかる専門課程）の修了証書取得者。
	規定研修時間：≧ 1 5 0 標準学習時間
高級	① 中級職業資格証書取得後、継続 4 年以上にわたり介護職に従事し、規定の高級正規研修時間に達し、修了証書を取得した者。

	② 中級職業資格証書取得後、継続 7 年以上にわたり介護職に従事した者 ③ 高級技工学校、或いは人力資源社会保障行政部門の認定の高級技術能力育成対象の専門課程（介護職に係る専門課程）、或いは関連専門学科の修了証書取得者。 ④ 中級職業資格証書を取得した専門学校の専門学科或は関連学科卒業生で、継続 2 年以上にわたり介護職に従事した者。
	規定研修時間：≧ 1 2 0 標準学習時間
技師	① 高級職業資格証書取得後、継続 5 年以上にわたり介護職に従事し、規定の高級正規研修時間に達し、修了証書を取得した者。 ② 高級職業資格証書取得後、継 8 年以上にわたり介護職に従事した者 ③ 高級職業資格証書を取得した高級技工学校本職業専門学科の修了生で、継続 2 年以上にわたり介護職に従事した者。
	規定研修時間：≧ 9 0 標準学習時間

②中国の介護人材育成に関する問題点・課題

・介護人材の深刻な不足

2016 年末時点、中国における 60 歳以上の高齢者人口は 2.3 億人に達している。そのうち、要介護高齢者は約 4,000 万人に達している。

国際的に通用されている 3 名の要介護者に対して、1 名の介護スタッフを配置する という基準に基づき計算すると、中国において必要とされる介護人材は 1,000 万人以上と見込まれる。

・低学歴、不十分な人材育成制度

中国における介護職従事者のうち、最終学歴が中卒以下である割合が 60% 以上となっている。また、職業能力資格証を取得している従事者は限定的に留まっている。

2016 年時点、中国国内で介護関連専門学科（介護、リハビリを含む）を設置している大学は 29 校、短期大学は約 30 校、専門学校は約 25 校となっている。

・従事者の年齢の高さ

中国における介護職従事者の年齢層は 40～50 代が最も多く、60 歳以上の高齢者が「老

老介護」しているという状況もみられる。こうした年齢層においては、従事者の学習能力、体力などに問題を抱えているケースが多い。

・人材流出率の高さ

中国においては介護職の社会的地位が低く、長時間労働、高負担、低待遇など、いわゆる「3K」的な職業とみなされるケースが多く、特に若年層では短期間で転職、退職するケースが多い。

出所) 2017.12 日本貿易振興機構 (ジェトロ) サービス産業部 北京・上海・大連事務所

2)実証

実証フィールドとの調整

実証フィールドにおけるネット教育システム「ケア e トレーナー」の導入のための現地環境調査（回線速度、端末の有無等）を実施する。また、システム上のローカライズ要件を抽出する。なお、今回の実証においては、中国におけるインターネット事情により、日本との相違点が現地環境調査で発覚し、それをクリアするため、新たにクラウド上でシステムを構築し利用する。現地環境調査の結果は、（2）研修プログラム検討に反映する。

実証フィールドは、

* 杭州市社会福利中心	3 名
* 陝西省自強中等専門学校	3 名
* 衢州職業技術学院	3 名
* 陝西宝鶏高新健康城	3 名
* 陝西工運学院	3 名
* 河南省職工医院	5 名

* 中国健康養老集団研究院 2 名

< 合計 > 22 名

3) 学習者の概要

JICA（独立行政法人国際協力機構）日中高齢化対策戦略技術プロジェクトを通じて以下の 2 人の学習者が集まった。

図表・03 受講生

No.	性別	所属	肩書
1	女	杭州市社会福利中心	看護科スタッフ
2	女	杭州市社会福利中心	看護士長
3	女	杭州市社会福利中心	看護士長
4	男	陝西省自強中等専門学校	校長
5	女	陝西省自強中等専門学校	副校長
6	女	陝西省自強中等専門学校	教務課課長
7	女	衢州職業技術学院	継続教育学院院長
8	女	衢州職業技術学院	教師
9	女	衢州職業技術学院	教師
10	男	陝西宝鷄高新健康城	院長
11	女	陝西宝鷄高新健康城	主任
12	女	陝西宝鷄高新健康城	健康アドバイザー
13	女	陝西工運学院	学科長
14	女	陝西工運学院	教師
15	女	陝西工運学院	教務職員
16	女	河南省職工医院	看護士長
17	女	河南省職工医院	看護士
18	女	河南省職工医院	看護士長
19	女	河南省職工医院	看護士
20	女	河南省職工医院	看護士
21	女	中国健康養老集団研究院	総経理補佐
22	女	中国健康養老集団研究院	プロジェクト主任

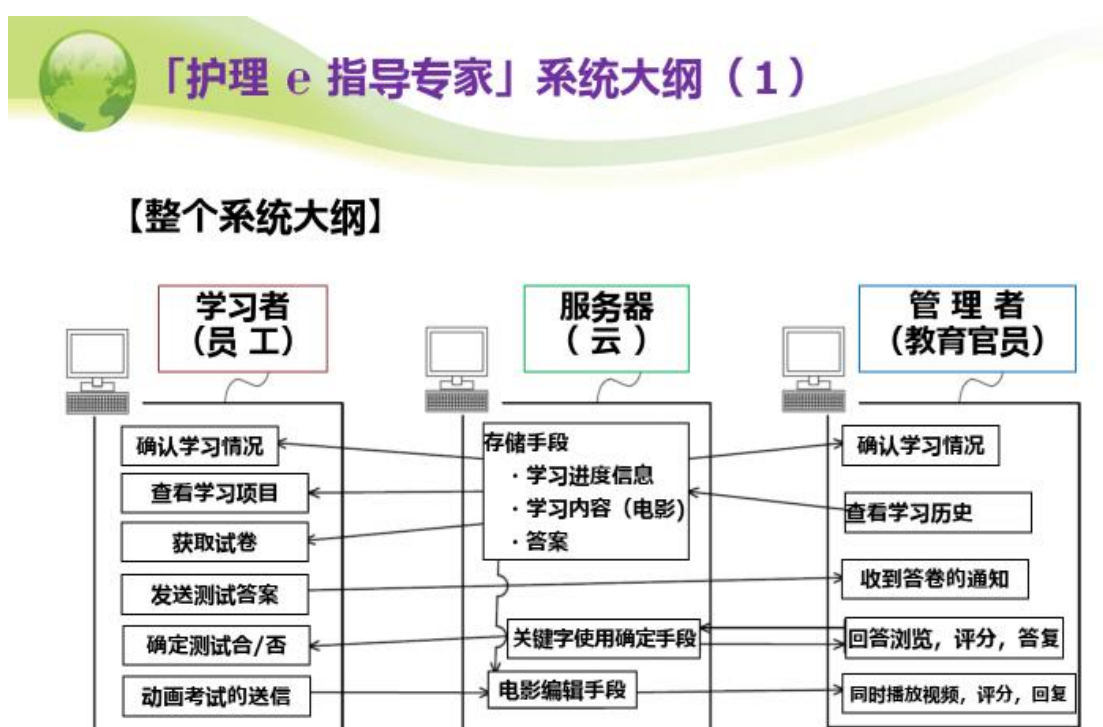
4) 学習プログラムの開発

学習プログラムの内容は、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）相当を2～3カ月で習得できるように内容を目指し、ネット教育システム「ケアeトレーナー」のネット教育コンテンツ及び学習プログラムを最適化するため、現地の介護現場の現状を踏まえ、ローカライズ要件を抽出する。抽出した要件に伴い、ネット教育コンテンツ及び学習プログラムのローカライズを実施する。

また、事前アンケートで採集した学習者経歴や学習動機を分析し、新たに認知症関連項目、日本式介護理念などを加えた。

受講の流れは、以下の図表のようにになっている。

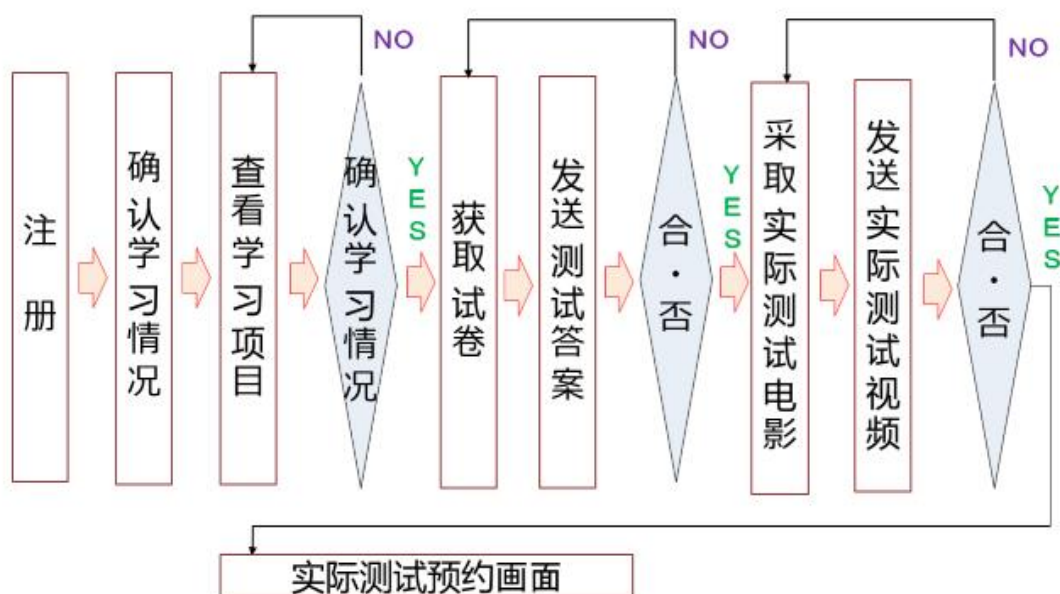
図表・04 ネット教育システム「ケアeトレーナー」学習の流れ





「护理 e 指导专家」系统大纲（2）

【学习者系统大纲】

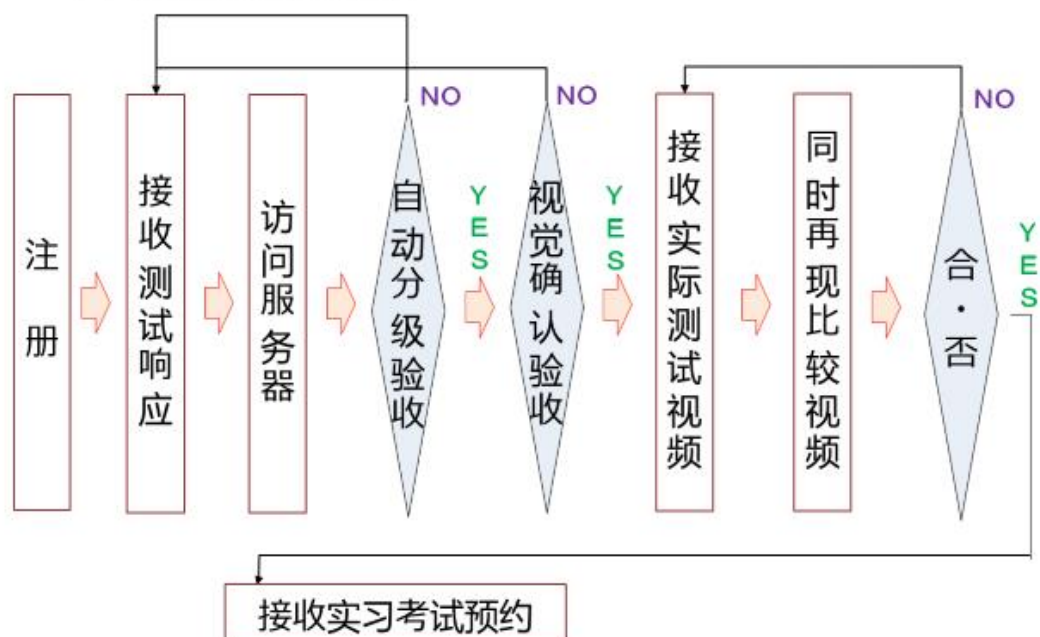


3



「护理 e 指导专家」系统大纲（3）

【管理者系统大纲】



4

5)学習プログラムの実施

本事業においては、介護又は医療に関連する組織に所属する職員を対象にして、ネット教育システム「ケアeトレーナー」学習者の希望者を募り、決定した。学習希望者にはネット教育システム「ケアeトレーナー」のID、パスワードを付与し、インターネットがつながる環境であれば、どこでも受講できる環境を提供する。

①一般財団法人福祉サービス評価機構担当者による案内

- ・実証実験プロジェクトの概要説明
- ・「ケアeトレーナー」の説明と操作方法
- ・今後のスケジュール説明

②ネット教育システム「ケアeトレーナー」による学習（知識・技術を各自学習）

③ネット教育システムによる学習期間中にペーパーテスト・動画テスト提出

④ペーパーテスト・動画テストを合格した後、実技テストを実施する予定であったが、1月下旬から始まる

新型コロナウイルス感染の影響で実施できなかった。

6)実証実験のスケジュール

図表5のスケジュールを学習者へ案内したところ、学習期間を延長する要望があり、推進状況確認の結果に合わせて、学習期限・テスト提出期限を2020年1月13日まで延長することにした。

[図表・05]

日本式介護学習スケジュール							
実施項目	2019年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
「ケアeトレーナー」システム中国語版作成	→						
学習プログラムのコンテンツ制作・アップ	→						
日本式介護習得実証実験ガイドブック（中国語版）作成	→						
日本式介護習得実証実験説明会		→					
日本式介護の学習期間			→	→	→		
ペーパーテスト・動画テストの提出期間			←	←	←		
学習進捗状況の確認				◎			
日本式介護の実技テスト						◎	
アンケート調査・グループヒアリング						↓ ◎	

7)実証評価

- ① ネット教育システムを活用した学習プログラムの最終プログラムとして、学習者がどの程度介護の基礎知識を習得したかの評価をペーパーテスト及び実技テストを行い、講師等により評価する。
- ② 現地関係者、学習者にアンケート調査やヒアリングを行い、システムの機能、操作性、学習者の満足度、などを明らかにする。

1-4. プロジェクト体制

本事業は、一般財団法人福祉サービス評価機構中国事務所を代表団体として、一般財団法人福祉サービス評価機構日本事務所及び株式会社ウェルビーイング・クリエイトでプロジェクトチームを設立し、各参加団体の主な役割分担を以下の図表に示す。また、外注先である株式会社コンテンツは e ラーニングシステム「ケア e トレーナー」の現地ローカライゼーションを行う。

図表・06 実施体制及び役割分担

関係事業者	① 場 場 調 市	② 介護 e ラーニング 研修プログラムの実証	③ 業 の 評 性	④ 作 告 書 報
-------	--------------------	----------------------------	--------------------	--------------------

			e ラー ニング 導入	研 修 プ ロ グ ラ ム 検 討	研 修 プ ロ グ ラ ム の 提 供	実 証 評 価		
成 コ ン ソ ー シ ア ム	日 本 式 介 護 人 材 育	一般財団法人福祉サービス評価 機構 中国事務所	◎	◎	○	○	○	○
		一般財団法人福祉サービス評価 機構 日本事務所	○	○	◎	◎	◎	◎
		株式会社 ウェルビーイング・クリエイト	○	○	○	○	○	○
外注先： 株式会社コンテンツ			－	○	○	－	－	－

◎：主担当 ○：担当

第2章 実証実験

2-1. 実証フィールドについて

1) 実証フィールド(中国)の検証

(1) システム動作の安定性

ネット教育システム「ケア e トレーナー」の構築に使用しているクラウドは、中国以外の国にあるため、構築当初にシステムの動作や安定性に不安を持っていたが、利用開始に当たり、支障なく利用できている。

(2) 開始初期インタビューで集まった問題点と解決

A 中国では Google Chrome を使えない。

——IE 対応に改善 (2019 年 8 月 11 日)

B パソコンを使える時間が少ないので携帯端末で使いたい。

——アプリケーションを作ることができなかったが、ネット閲覧を実現。(テスト提出はできない)

C 一部文字化けが発生する。

——字体を修正しアップロード (2019 年 8 月 20 日)

2-2. 学習プログラムの開発

本プロジェクトにおいては、II による学習を中心とし、日本式の介護を理解するために、直接的な教育・指導に頼ることなく、ネットでの教育効果を確認するために本プロジェクトを実施した。

研修プログラムの内容は、実際に日本で働くための事前教育として効果を上げているものを使用し、検証することも目的として検討した結果、必要最低限かつ日本の介護現場で実践的な食事・入浴・排泄の 3 大介護を中心に組み立てた。

しかし、学習者職務上の立場と事前アンケートにて集まった要望では日本式介護の考え方、介護員の

基本姿勢、認知症ケアへの関心が高い事により、Ⅲ-2・Ⅳ-3 を加えた。

主なテキストの内容として

I. 基本対応 （詳細中国語目録参照）

I -1 接遇

II. 介護の基礎技術（詳細中国語目録参照）

II -1 入浴・清潔介助

II -2 食事介助・口腔ケア

II -3 排泄介助

II -4 移乗・移動・体位変換

III. 日本式介護の基本

III-1 介護の基本態度

1 介護・生活の定義

2 介護職員に求められるもの

III-2 介護の考え方

1 Q O L とノーマライゼーション

2 介護管理

3 守秘義務

IV. 高齢者の特徴

IV-1 高齢者の特徴と観察

1 バイタルサイン

2 高齢者の特徴

IV-2 高齢者の特徴とケア

1 水分ケア

2 摂食・嚥下のメカニズム

3 誤嚥について

4 排尿のメカニズム

5 消化・吸収のメカニズム

6 便秘について

IV-3 認知症ケア

1 認知症の概要を理解する

2 認知症高齢者の体感世界とケアの基本的考え方

3 アルツハイマー型認知症

4 脳血管性認知症、レビー小体認知症

5 前頭側頭葉型認知症、ピック病

「中国語目録」

I 基本対応 1、接待

1. 关于接待的基本要求
2. 接待时的注意事项
3. 和对方接触时的注意事项
4. 移动・运动的照护

5. 关于生命体征
- II 基本介护技术 1. 关于清洁的照护
 1. 关于清洁
 2. 换衣服
 3. 关于泡澡、擦拭身体
 4. 关于擦身浴
 5. 部位浴
- II 基本护理技术 2. 进食照护和口腔护理
 6. 关于进食
 7. 进食照护
 8. 关于口腔护理
- II 基本护理技术 3. 排泄护理
 1. 排泄照护的原则
 2. 可以走路的用户在厕所的排泄照护
 3. 使用轮椅的用户在卫生间的排泄照护
 4. 使用移动式马桶的排泄照护
 5. 在床上使用尿壶进行排泄照护
 6. 更换尿布 复制
- II 基本护理技术 4. 换乘・移动・变换姿势
 1. 入住者起身时的照护
 2. 需要部分照护的入住者的换乘
 3. 需要全身照护的用户的换乘
 4. 移动・运动的照护
 5. 姿势变换
- III 日本式介护的基本 1. 介护的基本态度
 1. 介护・生活的定义
 2. 介护职员需要什么
- III 日本式介护的基本 2. 介护的基本思路
 1. Q O L 与正常化
 2. 介护管理
 3. 保密义务
- IV 高龄者的特征 1. 高龄者的特征与观察
 1. 关于生命体征
 2. 高龄者的特征
- IV 高龄者的特征 2. 高龄者的特征与护理とケア
 1. 水分护理
 2. 摄食、吞咽机制
 3. 关于误咽
 4. 排尿的机制
 5. 消化，吸收的机制
 6. 关于便秘
- IV 高龄者的特征 3. 痴呆症的介护
 1. 理解痴呆症的概要
 2. 痴呆症老年人的体感世界及护理的基本思路
 3. 阿尔茨海默型痴呆症
 4. 脑血管性痴呆症，路易体痴呆症
 5. 额颞叶型痴呆症，皮克病

讲座一览画面

讲座范疇登录 讲座名登录 分类文件夹

I 基本对应 1、接待

1. 关于接待的基本要求	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 接待时的注意事项	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 和对方接触时的注意事项	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
4. 移动・运动的照护	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
5. 关于生命体征	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4

关闭

II 基本介护技术 1. 关于清洁的照护

1. 关于清洁	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 换衣服	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 关于泡澡、擦拭身体	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
4. 关于擦身浴	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4

5. 部位浴	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
--------	--	-----	-----	-----	-----

关闭

II 基本护理技术 2. 进食照护和口腔护理					
6. 关于进食	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
7. 进食照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
8. 关于口腔护理	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4

II 基本护理技术 3. 排泄护理					
1. 排泄照护的原则	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 可以走路的用户在厕所的排泄照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 使用轮椅的用户在卫生间的排泄照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
4. 使用移动式马桶的排泄照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
5. 在床上使用尿壶进行排泄照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
6. 更换尿布	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4

关闭

II 基本护理技术 4. 换乘·移动·变换姿势					
1. 入住者起身时的照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 需要部分照护的入住者的换乘	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 需要全身照护的用户的换乘	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
4. 移动·运动的照护	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
5. 姿势变换	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4

关闭

III 日式介护的基本 1. 介护的基本态度					
1. 介护·生活的定义	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 介护职员需要什么	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4

III 日式介护的基本 2. 介护的基本思路					
1. QOL与正常化	复制 	级别1	级别2	级别3	级别4

2. 介護管理	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 保密义务	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4

IV 高齢者の特征 1. 高齢者の特征と観察					
1. 关于生命体征	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 高齢者の特征	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4

IV 高齢者の特征 2. 高齢者の特征と护理とケア					
1. 水分护理	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 摄食、吞咽机制	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 关于误咽	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
4. 排尿的机制	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
5. 消化，吸收的机制	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
6. 关于便秘	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4

关闭

IV 高齢者の特征 3. 痴呆症的介护					
1. 理解痴呆症的概要	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
2. 痴呆症老年人的体感世界及护理的基本思路	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
3. 阿尔茨海默型痴呆症	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
4. 脑血管性痴呆症，路易体痴呆症	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4
5. 额颞叶型痴呆症，皮克病	复制 删除	级别1	级别2	级别3	级别4

关闭

▲ ページトップへ

2-3. ネット教育コンテンツ開発

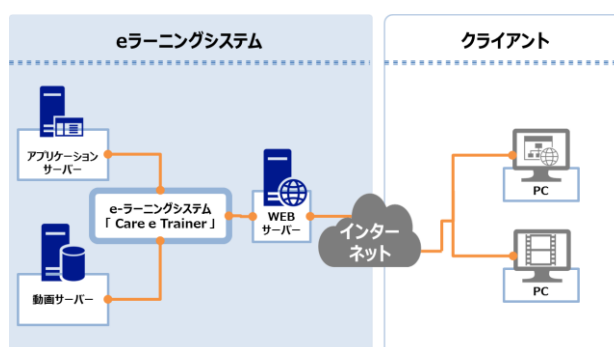
本事業の実証フィールドにおいて使用したネット教育システムは、本プロジェクト用に準備した新規のネット教育システム「ケア e トレーナー」の環境で実施した。

このシステムは、ユーザーが動画撮影しアップロードした動画と説明テキストから構成されるシステムで、動画は本実証事業用に熊本県熊本市の特別養護老人ホームみかんの丘にて撮影をした動画を使用し、テキストは同じく特別養護老人ホームみかんの丘の教材を使用し、中国語に翻訳した。

1) ネット教育システム

ネット教育システムはウェブベースのシステムである。パソコンがありインターネット環境があれば、ブラウザからアクセスできる。現地環境調査時に動作を確認し問題ないことを確認できた。また、多言語対応のために文字コードを UTF-8 として開発したため文字化け問題を解決できた。その他も含めて、特にシステムの改修は発生していない。

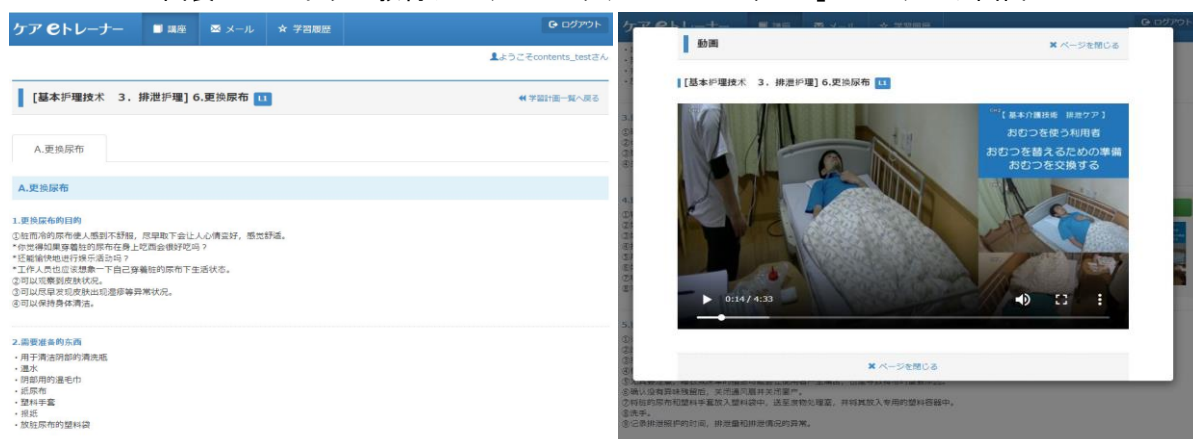
図表・07 ネット教育システム「ケア e トレーナー」概要図



2) 動画コンテンツ

学習プログラムの内容が基礎的な3大介護（食事・排泄・入浴）が2～3カ月で習得できるような内容であることを踏まえたうえで、特別養護老人ホームみかんの丘にて動画撮影を実施した。日本で実際に使用している新人職員用の研修プログラムであり、中国の学習者のレベルにあわせて動画やテキストの内容に関して特段の配慮は行っていない。これは、今の日本での介護サービスの現状を理解し、中国の風土・生活習慣に応じた介護サービスを構築する上での参考資料とするため、日本の研修プログラムを使用したものである。

図表・09 ネット教育システム「ケア e トレーナー」コンテンツ画面



テキスト画面

動画閲覧画面

3) システムのローカライズ、セキュリティ

今回のネット教育システム「ケア e トレーナー」は、本プロジェクトのためにクラウド上に新たに構築したもので、システム全体の中国語へのローカライズも併せて行った。さらに「ケア e トレーナー操作マニュアル（学習者用）」を準備した。

システムログインのユーザーID、パスワードは、学習者 1 人に 1 件ずつ発行し付与した。ユーザーID、パスワードを個別に発行することで、セキュリティの観点からも問題のない運用が実施できた。

4) 今後の課題

中国において、特に介護従事者にとって、パソコンの保有率が低く、携帯端末を使用する事が一般的であるため、携帯端末対応にする必要があった。

日本国内で撮影しているため、ナレーションが日本語のままであった。ナレーションの内容がテキストと同じであるが、さらに直観的に学習するため、少なくとも字幕を入れる必要があった。なお、動画テストを受けるための設備が不十分であったため、動画テストを受ける学習者がいなかった。

2-4. 学習プログラムの実施

1)学習サポート

学習者が看護若しくは介護に関連する機関の関係者であり、介護の知識が少なからずあることも踏まえ、日本式介護普及実証実験プロジェクト目的や概要、ネット教育システム「ケアEトレーナー」のシステム概要コンテンツとして掲載し、学習者が介護について理解が深められる構成にした。

(1)開始時使用案内

ネット教育システムの操作説明はメールにて行った。また、WeChat グループを作り、福祉サービス評価機構中国事務所スタッフによるサポート体制を構築した。

- ① 操作マニュアルの配布
- ② システムの概略の説明
- ③ システムにログインし操作説明
- ④ 受講生によるシステム操作状況の確認を実施

開始時の主な質問と回答
・携帯端末からの利用ができないか。 (携帯端末ブラウザ対応できるよう修正する) ・パスワードでアクセスできない。 (ID パスワードとも小文字で入力すると解決) ・映像がダウンロードできない。 (撮影先施設が映像権を所有するためダウンロードできないようにしている) ・テスト判定は誰が行う。 (日本にある財団本部教育研究部門が行う)

(2)中間期の進捗管理

学習の進捗状況確認及びシステムの稼働状況を確認するため、学習者に連絡し直接確認を行った。

直接話ができた学習者は 22 名中 9 名であった。

進捗管理時の主な質問
・終了証書は発行されるか。 (発行する予定である) ・合格点は何点か。 (原則 100 点満点の 80 点合格) ・期限延長できないか。 (推進状況の統計結果を見て延長を検討する) ・修了後もアクセスできるか。 (原則 2020 年 7 月まで ID パスワードが有効、申請があれば有効期限を延長する事もできる) ・常にネット環境があるわけではないのでテキストを送ってほしい。 (テキスト PDF をメールにて送付)

2-5. ネット教育システムを活用した学習プログラムの評価項目の設計

本事業で実施した日本式介護学習プログラムを評価するために、学習者の研修内容の理解度、研修内容の満足度等について評価を実施した。以下に評価の観点と評価方法を示す。

図表・1

評価の観点	評価方法
学習者の研修内容の理解度	・筆記テスト ・実技テスト（未実施）
学習者による研修プログラムの評価	・アンケート ・インタビュー

受講者による学習プログラムの評価のためのアンケート項目を以下に示す。

中日养老服务政策及产业合作项目实证实验事后调查表

*1. 请输入您的姓名：

*2. 您认为这套教材质量如何？

☐ 非常好
☐ 比较好
☐ 一般
☐ 不太好
☐ 不好

*3. 在对项目的整体学习效果方面，通过学习，您是否对日本式介护有了较深的理解？

☐ 有非常深刻的理解
☐ 有比较深入的了解
☐ 有一般的了解
☐ 理解的不是很深入
☐ 完全没有理解

*4. 在学习内容的难易度方面，您认为说明会上分享的学习方法及内容的难易度如何？

☐ 非常容易理解
☐ 可以理解
☐ 比较一般
☐ 比较难以理解
☐ 完全不懂

*5. 在学习内容的难易度方面，您认为E-learning上的学习内容，难易度如何？

☐ 很简单
☐ 一般
☐ 比较难
☐ 非常难
☐ 基本不懂

*6. 在学习内容的难易度方面，您认为日式介護的中文翻译内容，难易度如何？

☐ 非常容易理解
☐ 比较容易理解
☐ 一般

☐ 比较难理解
☐ 非常难理解
☐ 几乎不懂

***7. 您会对希望继续学习日式介护吗？**

☐ 非常希望
☐ 有一点想
☐ 没有想法
☐ 应该不会
☐ 不会再学

***8. 今后在日式介护的学习中，您希望借助什么平台呢？**

☐ 通过国内的学校
☐ 通过日本的学校
☐ 使用E-learning
☐ 国内的学校与E-learning同时学习
☐ 在现场（介护设施、医院等）学习
☐ 不太清楚

* 9. 在中国的介护工作中，您通过培训所学习的知识是否有用？

- ☐ 可直接运用于工作
- ☐ 虽然不能直接运用，但可以应用于工作
- ☐ 虽然不能直接运用、应用，但可以作为自身的参考
- ☐ 完全没有用

* 10. 您认为今后在中国开展介护教育是否有一定的必要性？

- ☐ 非常有必要
- ☐ 比较有必要
- ☐ 一般
- ☐ 不是很有必要
- ☐ 几乎不需要
- ☐ 不太清楚

* 11. 经过实证实验，您学的日本式护理哪些方面比较好？

*** 12. 您认为的对日本养老服务方面的印象、中国和日本之间的区别是什么？**

*** 13. 经过实证实验，您工作上的下一步课题是什么？**

*** 14. 请您在学习本课程后，有任何关于学习内容、希望改善的地方、目前的不足等，提出您宝贵的意见和建议。**

アンケート項目日本語訳：

1 氏名

2 この教材の質はどうでしたか？（非常に良かった、良かった、普通、あまりよくない、良くない）

3 学習プログラム全体について、お伺いします。このプログラムを通して、日本式介護についての理解は深まりましたか？

（非常に深まった、やや深まった、普通、あまり深まらなかった、全く深まらなかった）

4 学習内容の難易度について、説明会での学習方法及び学習内容の説明はどうでしたか？

（非常に解りやすかった、解りやすかった、普通、やや解りにくかった、非常に解りにくかった、解らなかった）

5 学習内容の難易度について、eラーニングでの学習内容はどうか？

(非常に簡単だった、簡単だった、普通、やや難しかった、難しかった、解らなかった)

6 学習内容の難易度について、中国語に翻訳内容はどうか？

(非常に解りやすかった、解りやすかった、普通、やや解りにくかった、非常に解りにくかった、解らなかった)

7 引き続き日本式介護の勉強をしたいと思いますか？

(非常にしたい、ややしたい、どちらでもない、あまりしたくない、全くしたくない)

8 今後どのような方法で日本式介護を勉強したいと思いますか？

(中国の学校、日本の学校、eラーニング、中国の学校とeラーニング併用、現場（介護施設、病院等）、
わからない)

9 中国での介護業務において、今回の学習で得た知識は役立ちますか？

(直接運用できる、直接運用できないが仕事に役立つ、直接運用できないが自分自身の参考になる、役
立たない)

10 今後中国において介護の教育は必要だと思いますか？

(非常に必要、やや必要、普通、あまり必要でない、全く必要でない、わからない)

11 実証実験への参加を経て、日本式介護のいいところはどこだと思いますか？

12 日本の介護サービスに対するイメージ、中国と日本の相違点を教えてください。

13 実証実験への参加を経て、見つけた今後仕事上に課題は何ですか？

14 今回の学習を終え、学習内容、改善点、不足などがあれば教えてください。

さらに、多様な意見が出るように、以下の項目が示すインタビューを行った。

1. 日本の介護について

- ・今回の学習を通して感じたことをお答え下さい。日本の介護についてどのような印象をお持ちですか。
- ・日本の介護を学ぶにはどのような方法が良いと思いますか。

2. 中国での介護について

- ・中国で介護を普及させる（定着させる）にはどうしたらよいと思いますか。

3. 日本について

- ・他の国と比較して、日本の魅力はなんですか。

4. 中国について

- ・中国における保健医療分野の現在の課題はなんでしょうか。
- ・中国における高齢者対策の現在の課題はなんでしょうか。あれば教えてください。

5. 本プロジェクトについて

- ・今回参加した本プロジェクトの感想を教えてください。

2-6. ネット教育システム「ケアe トレーナー」を活用した学習プログラムの評価結果

ネット教育システム「ケアe トレーナー」による学習効果を確認するため、「ペーパーテスト」及び「実技テスト」を実施し、評価します。

1)ペーパーテスト

ネット教育システム「ケアe トレーナー」の項目ごとに学習が終了し、項目ごとに設定された「ペーパーテスト」を受けることにより、管理者が採点した点数とする。

2)実技テスト

実技テストは、2020 年 1 月からの新型コロナウイルス感染による肺炎の影響で、中止する事となった。

本来はネット教育システム「ケアe トレーナー」の項目ごとの動画のうち、実技テスト当日に指定された項目の実技を試験管の前で実施してもらい、それぞれの項目にチェックポイント設定し、それが実行できているかを評価し、加算方式で点数化する予定であった。

評価者は、日本の厚生労働省が推し進めている“キャリア段位制度”において段位を認定する“アセッサ”の資格を持ち、“外国人技能実習制度”における特定技能実習生を認定する“介護技能実習評価試験”の試験評価者の資格を持っている。

※今後希望があれば、評価者の訪中もしくは学習者来日のタイミングで実施する予定。

参加した学習者に対し今回の研修プログラムのアンケートとインタビューを実施した。それらの結果を以下に示す。

3)ペーパーテスト及び実技テストの結果

図表・ 筆記テスト、実技テストの結果

※ 筆記試験点数は各項目の平均点を示す。一部受験者は回答部分の平均点を示す。

No.	テスト受験者	筆記（100 点）	実技（100 点）	テスト提出
-----	--------	-----------	-----------	-------

1	A	1 0 0	未実施	全科目
2	B	1 0 0	未実施	全科目
3	C	9 9 . 3	未実施	全科目
4	D	9 6	未実施	全科目
5	E	9 4 . 6	未実施	全科目
6	F	9 4 . 4	未実施	全科目
7	G	9 2	未実施	全科目
8	H	9 2	未実施	全科目
9	I	1 0 0	未実施	一部受験
10	J	1 0 0	未実施	一部受験
11	K	1 0 0	未実施	一部受験
12	L	9 9 . 3	未実施	一部受験
13	M	9 9 . 1	未実施	一部受験
14	N	9 7	未実施	一部受験
15	O		未実施	未受験
16	P		未実施	未受験
17	Q		未実施	未受験
18	R		未実施	未受験
19	S		未実施	未受験
20	T		未実施	未受験
21	U		未実施	未受験
22	V		未実施	未受験
	平均点	9 7 . 4	未実施	

筆記テストは100点満点に対し、平均点（一部提出学習者を含む）が97.4点と点数から見ると非常に良い結果となった。受験した学習者からも、「ポイントをしっかり把握できた」との声があった。日本式の介護が初めての経験で、e ラーニングシステムだけでの学習の結果であり、継続的な教育を実施すれば理解度も増すのではないかとと思われる。

問題点としては、提出人数が少なく、全科目提出者が8名、一部提出者が6名、合計14名で全学習者の半数強に留まった。

主な原因として、テストは選択問題ではなく記述問題方式を採用していることが挙げられる。現職の介護従事者や管理者にとって、テストの提出は時間的に困難であった。学習効果を確認するためには記述問題

方式が優れているが、学習視点から考えると今後一部選択問題方式を採用することも検討する。

図表 ・ 筆記テスト判定結果一例：

护理 e 指导专家

员工管理

讲座管理

邮件

实操管理

基本设定

退出

login (退出)

个人信息

备注

现在学习中的课程

学习阶段

[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 5. 認知型痴呆症, 皮克病 L2

最新ログイン

2019/12/23

试卷考试 (1回目)

[✕ 删除这个员工]

员工的详细信息

过去听过的课程

コース名

テスト結果

最新アクセス日

[III 日本式介护の基本 2. 介护の基本思路] 3. 保密义务 L1

试卷考试 合格100点 (1回目)

2019/11/28 19:05:42

コース名

テスト結果

最新アクセス日

[III 日本式介护の基本 2. 介护の基本思路] 2. 介护管理 L1

试卷考试 合格100点 (1回目)

2019/11/28 19:04:55

コース名

テスト結果

最新アクセス日

[III 日本式介护の基本 2. 介护の基本思路] 1. QOL与正常化 L1

试卷考试 合格100点 (1回目)

2019/11/28 19:03:46

コース名

テスト結果

最新アクセス日

[III 日本式介护の基本 1. 介护の基本态度] 2. 介护职员需要什么 L1

试卷考试 合格93点 (1回目)

2019/11/15 11:49:17

コース名

テスト結果

最新アクセス日

[III 日本式介护の基本 1. 介护の基本态度] 1. 介护・生活の定义 L1

试卷考试 合格100点 (1回目)

2019/11/15 11:53:16

护理 e 指导专家					退出
备注					
现在学习中的课程	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 5. 谵妄型痴呆症, 皮克病 L2				最新ログイン 2020/02/18
学习阶段	试卷考试 (1回目)				

[✕ 删除这个员工]

员工的详细信息	过去听过的课程
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 5. 谵妄型痴呆症, 皮克病 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2019/12/17 22:07:59
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 4. 脳血管性痴呆症, 路易体痴呆症 L2
テスト結果	试卷考试 合格85点 (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 22:11:43
コース名	[IV 高齢者の特征 2. 高齢者の特征与护理とケア] 6. 关于便秘 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 22:07:50
コース名	[IV 高齢者の特征 2. 高齢者の特征与护理とケア] 4. 排便の机制 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 22:03:04
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 3. アルツハイマー型痴呆症 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 21:34:59

护理 e 指导专家					退出
备注					
现在学习中的课程	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 5. 谵妄型痴呆症, 皮克病 L2				最新ログイン 2020/02/18
学习阶段	试卷考试 (1回目)				

[✕ 删除这个员工]

员工的详细信息	过去听过的课程
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 2. 痴呆症老人の体験世界及护理の基本思路 L1
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 21:33:23
コース名	[IV 高齢者の特征 2. 高齢者の特征与护理とケア] 3. 关于谵妄 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 21:27:24
コース名	[IV 高齢者の特征 2. 高齢者の特征与护理とケア] 2. 进食、吞咽机制 L2
テスト結果	试卷考试 合格87点 (1回目)
最新アクセス日	2019/12/17 23:45:36
コース名	[IV 高齢者の特征 1. 高齢者の特征与观察] 2. 高齢者の特征 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2019/12/17 23:42:37
コース名	[IV 高齢者の特征 1. 高齢者の特征与观察] 1. 关于生命体征 L2
テスト結果	试卷考试 合格100点 (1回目)
最新アクセス日	2019/12/17 23:41:12

护理 e 指导专家				员工管理	讲座管理	邮件	实操管理	基本设定	退出
备注									
现在学习中的课程	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 5. 额颞叶型痴呆症, 皮克病 L2				最新ログイン	2020/04/22			
学习阶段	试卷考试 (2回目)								

[✕ 删除这个员工]

员工的详细信息	过去听过的课程
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 5. 额颞叶型痴呆症, 皮克病 L2
テスト結果	试卷考试 (合格100点) (2回目)
最新アクセス日	2020/02/16 23:15:49
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 4. 脑血管性痴呆症, 路易体痴呆症 L2
テスト結果	试卷考试 (合格100点) (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 23:11:06
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 3. 阿尔茨海默型痴呆症 L2
テスト結果	试卷考试 (不合格71点) (1回目)
最新アクセス日	2020/02/16 23:07:38
コース名	[IV 高齢者の特征 3. 痴呆症の介护] 2. 痴呆症老年人的体验世界及护理的基本思路 L1
テスト結果	试卷考试 (合格100点) (2回目)
最新アクセス日	2020/02/16 23:00:46
コース名	[IV 高齢者の特征 2. 高齢者の特征与护理とケア] 6. 关于便秘 L2
テスト結果	试卷考试 (合格100点) (2回目)
最新アクセス日	2020/02/16 22:58:09

4) アンケート結果

アンケート実施日時：2020 年 3 月 9 日（月）～4 月 30 日（木）

実施方法：E-トレーナーシステムにて配布・回収

アンケートスターシステムにて配布・回収

アンケートスターシステムにて統計

有効回答数：12/22

統計結果：

* 日本語訳は P 2 4（アンケート項目日本語訳）参照

統計結果が示すように、教育システム、コンテンツ内容とも学習者から高い評価を受けた。教材の質の設

間で「非常に良かった」と「よかった」が 100%という結果となった。学習方法の案内についても 66%の方から「非常にわかりやすかった」との回答を得られた。

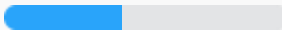
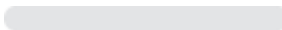
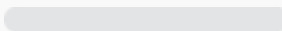
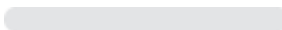
目標とする日本式介護への理解において、「非常に深まった」と「やや深まった」を合わせて 75%を占め、良い効果が得られた。設問 7、引き続き日本式介護の勉強意欲では、「非常にしたい」は 83%と圧倒的に多かった。

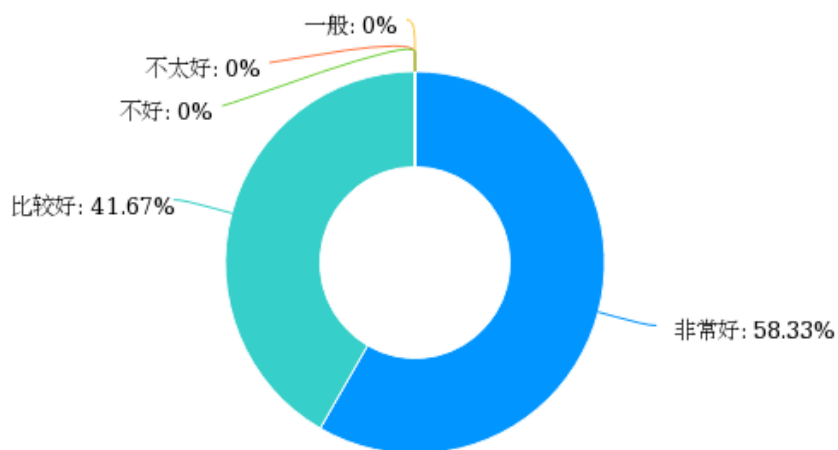
限られた有効回答の中でも、回答式アンケートにて、多種多様な意見や提案が集まり、実証実験及び日本式介護学習への高い関心度が見られた。

中日养老服务政策及产业合作项目实证实验事后调查表

第 1 题 请输入您的姓名：

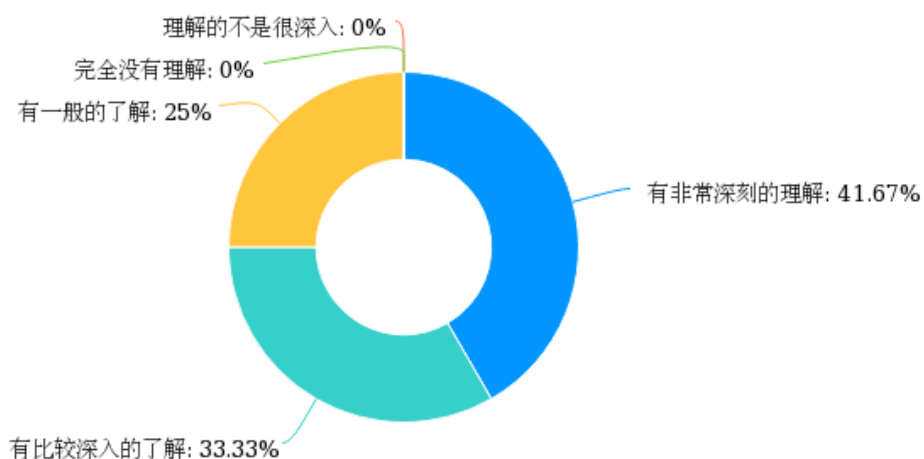
第 2 题 您认为这套教材质量如何？

选项	小计	比例
非常好	7	 58.33%
比较好	5	 41.67%
一般	0	 0%
不太好	0	 0%
不好	0	 0%
本题有效填写人次	12	



第 3 题 在对项目的整体学习效果方面，通过学习，您是否对日本式介護有了较深的理解？

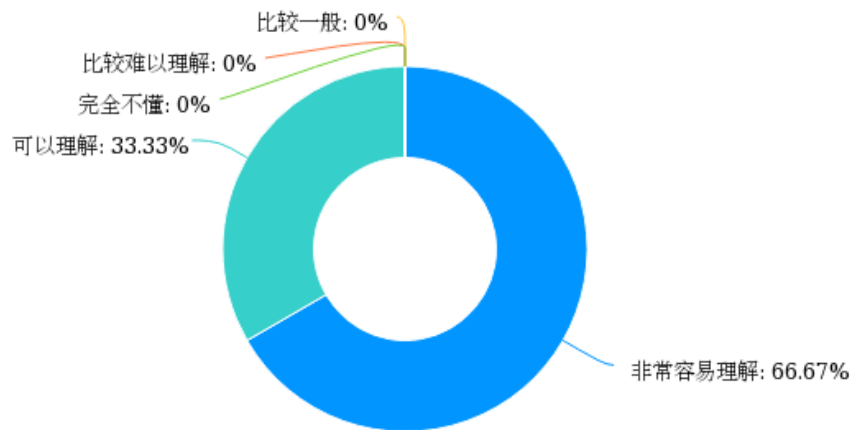
选项	小计	比例
有非常深刻的理解	5	41.67%
有比较深入的了解	4	33.33%
有一般的了解	3	25%
理解的不是很深入	0	0%
完全没有理解	0	0%
本题有效填写人次	12	



第 4 题 在学习内容的难易度方面，您认为说明会上分享的学习方法及内容的难易度如何？

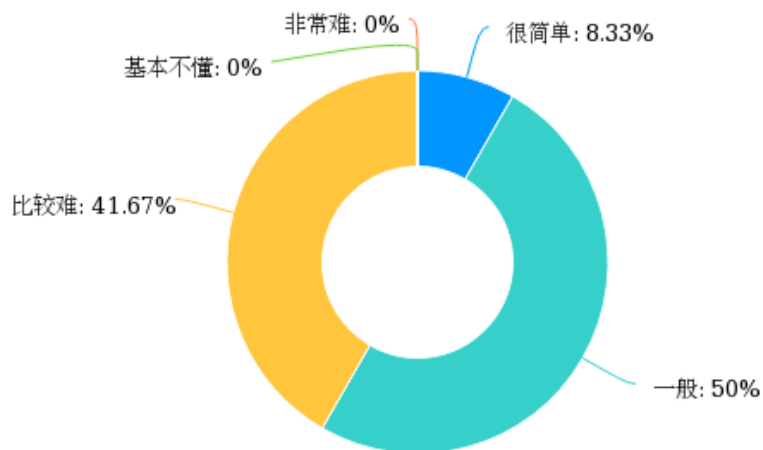
选项	小计	比例
----	----	----

非常容易理解	8	66.67%
可以理解	4	33.33%
比较一般	0	0%
比较难以理解	0	0%
完全不懂	0	0%
本题有效填写人次	12	



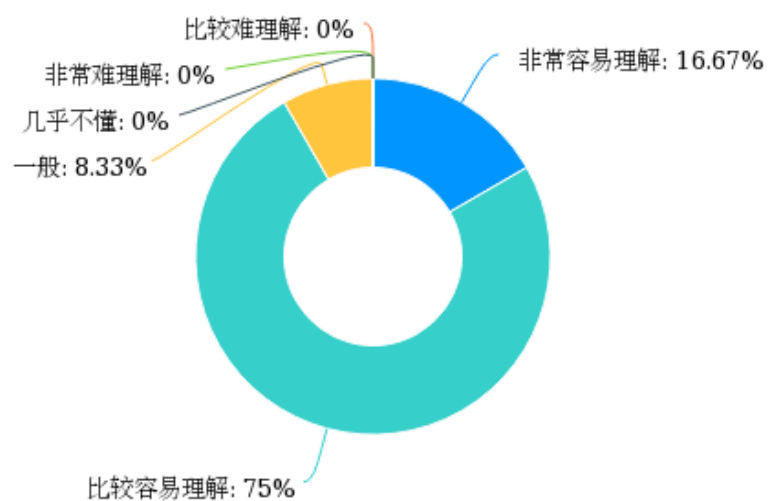
第 5 题 在学习内容的难易度方面，您认为 E-learning 上的学习内容，难易度如何？

选项	小计	比例
很简单	1	8.33%
一般	6	50%
比较难	5	41.67%
非常难	0	0%
基本不懂	0	0%
本题有效填写人次	12	



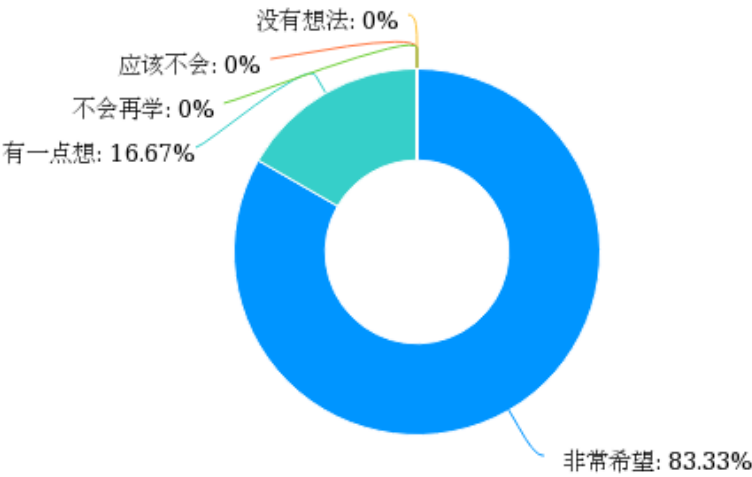
第 6 题 在学习内容的难易度方面，您认为日式介護的中文翻译内容，难易度如何？

选项	小计	比例
非常容易理解	2	16.67%
比较容易理解	9	75%
一般	1	8.33%
比较难理解	0	0%
非常难理解	0	0%
几乎不懂	0	0%
本题有效填写人次	12	



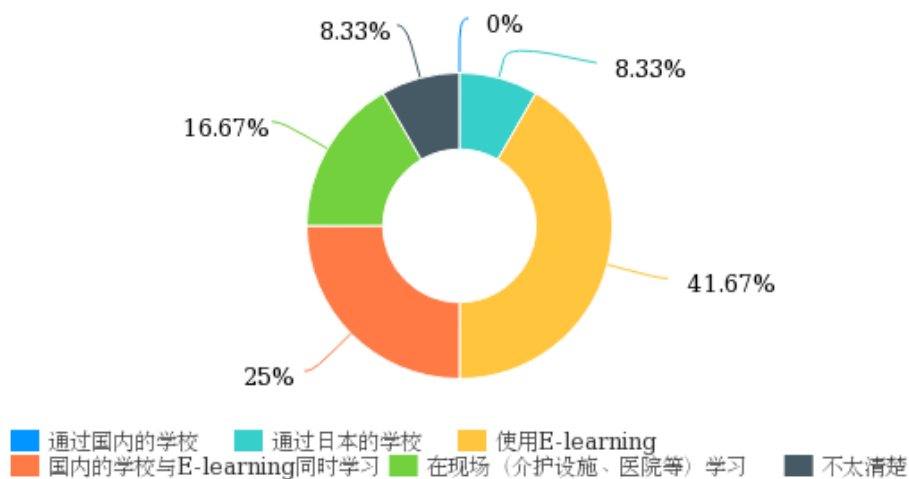
第 7 题 您会对希望继续学习日式介护吗？

选项	小计	比例
非常希望	10	83.33%
有一点想	2	16.67%
没有想法	0	0%
应该不会	0	0%
不会再学	0	0%
本题有效填写人次	12	



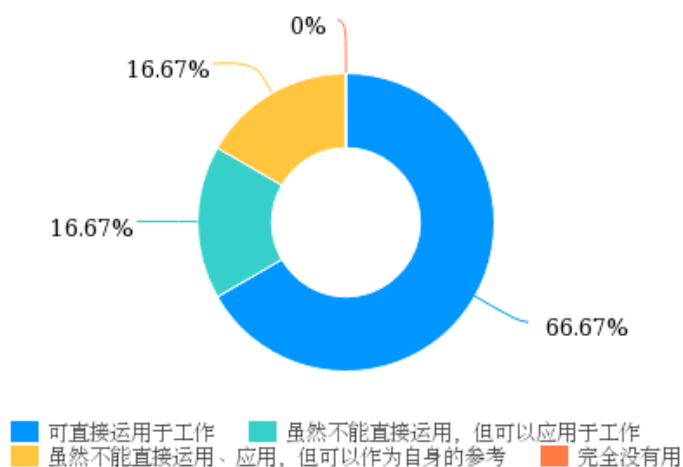
第 8 题 今后在日式介护的学习中，您希望借助什么平台呢？

选项	小计	比例
通过国内的学校	0	0%
通过日本的学校	1	8.33%
使用 E-learning	5	41.67%
国内的学校与 E-learning 同时学习	3	25%
在现场（介护设施、医院等）学习	2	16.67%
不太清楚	1	8.33%
本题有效填写人次	12	



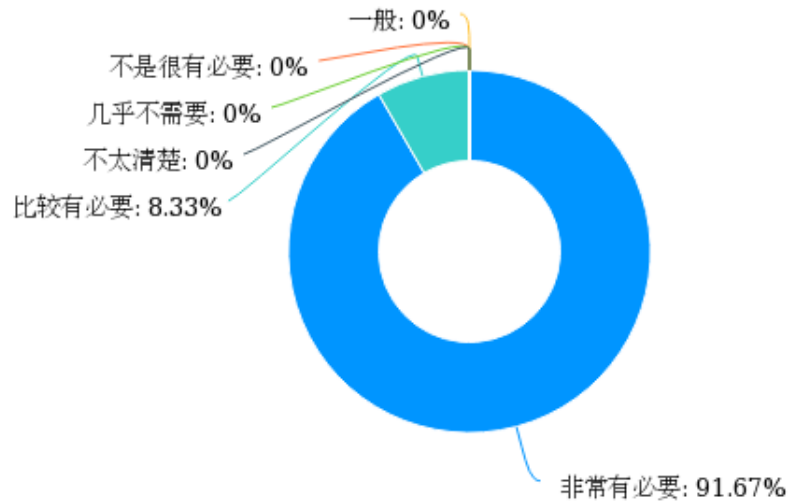
第 9 题 在中国的介护工作中，您通过培训所学习的知识是否有用？

选项	小计	比例
可直接运用于工作	8	66.67%
虽然不能直接运用，但可以应用于工作	2	16.67%
虽然不能直接运用、应用，但可以作为自身的参考	2	16.67%
完全没有用	0	0%
本题有效填写人次	12	



第 10 题 您认为今后在中国开展介护教育是否有一定的必要性？

选项	小计	比例
非常有必要	11	91.67%
比较有必要	1	8.33%
一般	0	0%
不是很有必要	0	0%
几乎不需要	0	0%
不太清楚	0	0%
本题有效填写人次	12	



第 11 题 经过实证实验，您学的日本式护理哪些方面比较好？

実証実験への参加を経て、日本式介護のいいところはどこだと思いますか？

序号	答案文本
1	以利用者视角出发看待问题分析问题的姿态是值得我们学习的。 利用者視点から
2	日本多年来形成的多部门合作非常好。 長年で構築した他部署協働が優れていた。
3	认知症部分 認知症の部分
4	实操部分非常规范并且有理有据。 実務であっても規則が出来て、理論的支持もはっきりしている。
5	护理的科学性、维持老人的生理机能、保持充足交流、维护长者尊严。 介護の科学性、高齢者生理的機能の維持、十分な交流をもつ、高齢者の尊厳。
6	服务理念和护理技能规范化 サービス理念と介護技術の規範化

7	科学统一，注意保护老人尊严与护理员免受工作损伤
	科学的統一性、高齢者尊厳の維持と従業者のケガ防止策
8	支持老人自立生活是值得我们学习的。
	高齢者生活自立支援はが学習する価値がある。
9	有很多可借鉴的经验
	たくさんある
10	各方面都值得借鉴
	すべての面で学習する価値がある
11	全方位隐私保护、对待认知症患者的姿态是值得借鉴的
	プライバシー保護、認知症患者への姿勢
12	人性化 通过交流的心理帮助
	人本位の考え方、コミュニケーションによる心理的支援

第 12 题 您认为的对日本养老服务方面的印象、中国和日本之间的区别是什么？

日本の介護サービスに対するイメージ、中国と日本の相違点を教えてください。

序号	答案文本
1	日本注重从生活和医疗的全方位提供养老服务，中国更加重视老人的身体健康。
	日本は生活と医療のトータルサービスを提供できる、中国は利用者の健康重視。
2	日本的养老服务标准非常完善，可以在全社会范围统一服务水平。中国各机构间存在明显差异。
	日本の介護サービス基準は優れ、全社会で統一性のあるサービスを提供できる。中国は機関ごとに差が大きい。
3	中国非常重视日常安全管理，但日本好像更注重常态化生活。
	中国（の施設）は日常の安全管理を重視している。日本は普通の暮らしをできる事を重視している。
4	日本对基层服务人员的培训更加充实。
	日本は第一線の従業者への教育研修が充実している。
5	理念、支付能力、服务水平有差距。
	理念、支払い能力、サービスレベルにおいて差がある。
6	细节与人性化
	細かいところと人本位
7	服务理念先进，人性化。服务精细化上有差距。
	（日本の）サービス理念が先進で人本位である。サービスの細かいところで差がみられる
8	日本更注重在工作中学习，中国将会着重把合格人才输送到养老服务中。
	日本は仕事の中から学ぶ事を重視しているが、中国は教育して合格した人材を介護機関へ送る。
9	经验的积累与服务水平的差距
	経験の累積とサービスレベルの差
10	从为老服务的出发点来看，差别不大。
	高齢者へサービスを提供する観点から差が大きい（求めるものが違う）
11	中国从原理出发，便于快速学习和提高。日本注重人性化，要实现大规模人才培养会更花时间
	中国は原理から着手するので、学習効果が高い。日本は人本位を重視するので、大規模に介護人材を育成するには時間がかかる。
12	支持自立和享受服务的区别
	自立支援の姿勢とサービスを受ける姿勢の差

第 13 题 经过实证实验，您工作上的下一步课题是什么？

実証実験への参加を経て、見つけた今後仕事上に課題は何ですか？

序号	答案文本
1	采取部分可实施但工作中还未落实的优点，运用到实际工作当中。
	可能性がありまだ業務に取り込んでいないものを見つけ出し、実際の業務で運用する。
2	系统整理服务细节
	細部のサービス要素を整理する
3	继续通过各种渠道学习。
	いろんなルートを使って学習する。
4	正在总结
	まとめているところ
5	提升护理水平与人才储备。
	介護レベルの向上と人材育成
6	规范化培训
	規範的研修
7	深化科学护理
	科学的介護を深める
8	将一些通过学习掌握的可行性改善推广到同事当中。
	学習で得たものを同僚の中で広める。
9	提高护理水平
	介護サービスレベルの向上
10	总结整理，实际运用。
	知識を整理してまとめる。実際に運用する。
11	对专项护理进行深入学习
	専門介護を深く学習する
12	医养结合
	医療と介護との融合

第 14 题 请您在学习本课程后，有任何关于学习内容、希望改善的地方、目前的不足等，提出您宝贵的意见和建议。

今回の学習を終え、学習内容、改善点、不足などがあれば教えてください。

序号	答案文本
1	希望视频是中文的，并且可以下载保存。
	映像は中国語のものが望ましい、ダウンロードできればなおよい。
2	翻译方面有一些用词希望能够统一。
	翻訳する際に一部の単語を統一してほしい。
3	很好
	とてもよい
4	很遗憾没有 PPT 文件形式教材，视频也不能够下载使用。如果可以实现更多功能，正好可以运用在近期面向学生的在线教学上。
	PPT 形式の教材がない事と映像がダウンロードできない事が残念である。もし実演できていれば、最近学

	生向けのオンライン授業で使っていた。
5	在线学习期待长期化
	長期的に学習できることを期待する。
6	能够长期接受在线培训，很希望了解价格。
	長期的に教育を受けたい、導入コストを知りたい。
7	希望多参加交流和学习
	学習と交流をたくさん参加したい
8	受疫情影响后期比较拖拉。手机使用不便。后续希望能够持续性学习。
	新型コロナウイルス感染の影響で後半がずるずるしていた。スマートフォンでの使用は不便であった。持続的に学習したい。
9	和国内的养老护理员培训教材能否结合？
	（中国）国内の介護員育成教材と融合できないか？
10	感谢项目组的各位负责人，学习过程非常顺利。
	プロジェクト担当者各位へ感謝する、学習は順調であった。
11	希望继续更新更加深入的内容提高学习层级
	引き続き更新していただき深い内容の学習を希望する。
12	考试后给出结果的速度较慢希望有所改进，希望能够长期学习并持续更新
	テスト提出後採点までの期間が長い。長期的学習するため内容を持続的に更新してほしい。

4)インタビュー

実証実験の最後のプログラムとして、電話にてインタビューを実施した。以下にその結果を示す。

(1)インタビューの実施日時

日時：2020年4月

対象者：実証実験参加者4名

(1)インタビュー内容

①日本の介護について

今回の研修を通して感じたことをお答え下さい。

- ・ 日本の介護についてどのような印象をお持ちですか。
- ・ 日本の介護を学ぶにはどのような方法が良いと思いますか。

(個別のコメント)

- ・映像から見ると日本の介護施設は清潔で安心感を与えられるように感じた。
- ・介護スタッフが若い人が多いように思う。
- ・実際に日本の施設で研修を受けるのが一番いい方法だと思う。

②中国での介護について

中国で介護を普及させる（定着させる）にはどうしたらよいと思いますか。

（個別のコメント）

- ・介護スタッフの待遇改善
- ・在宅介護を発展させる
- ・民営施設、機関を発展させる（民営病院のように）

③日本について

他の国と比較して、日本の魅力はなんですか。（どうして日本の介護に興味がありますか）

（個別のコメント）

- ・同じ東アジアですので、文化的理解しやすい。
- ・中医薬理念が共通している
- ・長寿な国

④中国について

中国における保健医療分野の現在の課題はなんでしょうか。

中国における高齢者対策の現在の課題はなんでしょうか。あれば教えてください。

（個別のコメント）

- ・人材育成が急務。

- ・中国的な特色のある介護サービスが確立されていない。

⑤本プロジェクトについて

今回参加した本プロジェクトの感想を教えてください。

(個別のコメント)

- ・仕事をしていても常に学習する必要がある。
- ・オンライン学習に慣れていなかったが、今回の新型コロナウイルス感染を考えると今後オンラインの方が一般的になるかもしれないと感じた。
- ・日本におけるスマホ利用は遅れているかもしれないと感じた。
- ・さらに日本の施設で行うサービスを見てみたくなった。

第3章 本プロジェクトの総合評価及びまとめ

3-1. ネット教育システム「ケアeトレーナー」の機能評価と課題

- * 機能評価に関しては、学習、評価、統計機能はすべて問題なく動作した。
- * 機能の課題と改善点は、中国でよく使うアプリケーション（WeChat など）と連動できないかを検討。

3-2. ネット教育システム「ケアeトレーナー」の操作性評価と課題

- * 操作性評価に関しては、携帯端末でなければ特に使いにくいとの意見がなかった。
- * 操作性の課題と改善点は、携帯端末への全対応を早急に検討する。これは中国のみならず、少なくともアジア諸国共通の需要である。プライバシー保護と個人情報収集許可について、両国間の違いを考えすべて省略したものの、今後中国の規定に沿うように改善する必要がある。

3-3. ネット教育システム「ケアeトレーナー」のコンテンツ評価と課題

- * コンテンツの評価に関しては、介護技術以外に日本式介護の考え方、介護員の基本姿勢、認知症ケアを追加した事は高い評価とつながった。ナレーションが日本語であること（字幕もなし）が最大課題であった。
- * コンテンツの課題と改善点は、字幕入れを開始する。ナレーションの吹き替えについて検討する。

3-4. ネット教育システム「ケアeトレーナー」のネット環境評価と課題

- * ネット環境の評価に関しては、中国各地のネット環境は十分にネット教育システムを支える事ができる。
- * ネット環境の課題と改善点として、映像を多用するため、中国国内にサーバーを置く必要がある。

第4章 まとめ

本プロジェクトでは、日本式介護の普及を目指すにあたり、まず介護人材の育成及び介護の概念を普及することが必要と考え、ネット教育システムによる学習プログラムを実施した。

今回の学習者は学歴、実務経験とも優れ、十分に日本式介護を理解し、運用する能力があったと判断できる。対象施設も中国四省（市）にあり、医療機関、介護施設、教育機関、介護コンサルティングと多様であり、本実証実験の結果は中国で普遍性を持つ事が確認できる。

中核となる施設、教育機関リーダーの学習状況から、日本式介護は中国で普及する土壌ができている事が見受けられる。また、日本式介護への関心度の高さも予想以上のものとなった。

学習プログラムでは一定の評価を得られたが、持続的に日本式介護を中国全土に普及させる取り組みが必要だと考える。中国では介護は「护理」と訳しているが、これを「KAIGO」とし、日本で見た、教育もしっかりして提供内容や機器のレベルも高い KAIGO を普及させる介護人材プロジェクトとして進めたいという希

望をもつに至るまでとなった。